

事業番号	15 01 13	事業改善シート(26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	災害警備対策事業				担当課	部局	警察本部		
						課・室	警備第二課		
						E-mail	police-keibidaini@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画	プロジェクト	4-1 地域防災力の向上				実施期間	S29 ~		
	施策の総合的展開	1 危機管理体制の整備							

1 事業の概要

目指す姿	大規模災害時に、迅速かつ的確な対応を行うために、精強な機動救助部隊の構築を図るとともに、救出救助能力の向上、災害警備活動に必要な装備資機材の継続的な整備及び災害警備本部機能強化等により、県民の生命・身体及び財産を守る。				
現状(予算編成時)	東日本大震災等からの教訓を受け、今後発生の可能性が極めて高い東海地震や南海トラフ地震などの各種災害に対し、更なる警備体制の強化、精強な部隊の養成、装備資機材の整備が必要不可欠である。				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施：実施は困難	災害対策基本法、長野県地域防災計画、警察法、警察法施行令、警察官職務執行法			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 万全な警備体制の確保と救助技能向上のため、あらゆる事態を想定した各種災害警備対応訓練を実施 ○ 救出救助・捜索用等、装備資機材の整備 ○ 総合指揮室(災害警備本部)の機能強化 				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績		
			H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
1. 災害警備用 装備資機材の整備	直接	・災害出動用警備服、備蓄装備品の整備 ・装備資機材の強化	4,365	3,765	14,555
2. 関東管区 広域緊急援助隊総合訓練	直接	・関東管区内の広域緊急援助隊総合訓練に要する経費	0	0	0
3. 総合指揮室の機能強化	直接	・災害警備本部となる総合指揮室表示装置等の使用料	31,297	31,091	31,294
		合計	35,662	34,856	45,849

事業 コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	37,625	40,585	35,662	45,849
	補正予算	0	0	0	0
	合計(A)	37,625	40,585	35,662	45,849
	Aの財源				
	一般財源	37,507	40,467	35,544	45,731
	県債	0	0	0	0
	国庫支出金	118	118	118	118
	その他	0	0	0	0
決算額(B)	37,404	40,576	34,856		
概算人件費					
職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	
概算人件費(C)	83	83	83	83	
概算事業費(B(A)+C)	37,487	40,659	34,939	45,932	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27
		目標	成果	達成状況	目標
各種訓練実施回数	100回	105回	108回	達成	—
資機材操作習熟訓練	—	—	—	—	105回以上

目標に対する成果の状況	警察本部及び全警察署において、警備本部設置訓練、装備資機材操作訓練等を実施したほか、各署において市町村等と連携した防災訓練を実施し、年間訓練回数105回以上の目標を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> ○ 警備体制の見直しを図り、災害発生時の初動対応能力の向上に努める。 ○ 御嶽山をはじめとする火山噴火災害の発生に備え、捜索救助活動に必要な装備資機材の充実化を図る。 ○ 精強な部隊育成のため各種訓練を強化する。
--------------------	---